

来春の成人式記念品決定！「第2回愛南のしずくコンペ」



南宇和高校生による2次審査



学生による最終審査



来年の新成人に贈る真珠のアクセサリーのデザインを選ぶ「愛南のしずく（真珠の輝き）コンペ」の最終審査がDE・あ・い・21で行われ、高木香緒さん（神戸市）の「故郷（ふるさと）の海と風に守られて」が最優秀作品に選ばれました。なお、本作品は350個製作し、ネックレスやストラップとして使えるようにして、新成人に贈る予定です。

一般に冠婚葬祭というイメージの強い真珠ですが、このコンペは、若い世代の方にじかに真珠に触れてもらって、より身近なものとして感じてもらい、真珠母貝養殖において日本有数の愛南町を広く知ってもらうため、昨年度から実施しています。

今年度は54点の応募があり、一次審査では、真珠販売業者や彫金業者、町内養殖業者などの

専門家により、募集要項を満たしているか、大量生産が可能かなどを基準に17点に絞り込みました。二次審査では、南宇和高校3年生219名により、デザインの人気を基準に9点に絞り込みました。そして最終審査では、大学や専門学校で学ぶ学生により1点を選びました。

今回審査に参加していただいたのは、愛媛大学や愛媛コミュニケーション・ユニバーシティの学生38名で、熱心に候補作品を見比べて選考していただきました。学生からは審査対象作品を見ながら、「愛南町の新成人がうらやましい。私もほしい」との声を多数いただきました。

また、審査のほかにも真珠の挿核作業や真珠を使ったアクセサリー作りを体験し、昼食では愛南町の特産品である鯛やヒオウギ貝などを使った料理を味わってもらうなど、愛南町の魅力を十分に楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

